



活力の素



雑学編

なんでん屋



活力の素

雑学編



目次

- 仏像の手の形
- 着るもの
- ブラインドタッチ
- 気のせい
- 思いつきと検証
- 性格を変える
- 人と接する
- パソコン初心者に教える
- 神の形と神の数字
- 最適なBGM
- 日々のお金管理
- アップルのマップ路線
- お金に余裕がある時の節約術
- ノートPCの活用
- お金の使い道
- 宝くじの失敗
- 夏の夜にはござ
- 紙幣と硬貨のお話
- 資産の話
- 防寒の話
- 漢字とかなの話
- 夜見る夢の実態

仏像の手の形

【弥勒の手の型】

右手は何か考える。

何かヒントを得ようとしている形。

左手は空気を受ける。

物事すべてを受け止める心の持ち方を表現している。

または、心をコントロールしている。

とにかく、仏像の手印なる形の解釈はむづかしい。

判断がむづかしいので、高尚なる高度な考えが元になったと考える。

そして、高等なる考え方の解釈で手の形ができたとみる。

すごい頭のいい人が考えたと思われる。

右手の形と左手の形が独立している場合もあるし、左右の手の合体型もある。

それぞれ、その印を結ぶとどういう心境になるかは、うっすらとわかるような気がする。

でも、我々一般人には、会得できない印の型だと思えます。

仏のいらっしやるあの世に行けば、わかるのかな。

着るもの

今日わかったこと。

紫は着ない方が良い。
いざという時だけ。

着るものは、染料の材質によって影響される。

紫のTシャツを着ると、靈的にも悪い方に傾く。

うまく説明できないが、自分にとって嫌な人物と目が合うようだと考えすぎといえなさうなのだが、何かいつもと違和感がある。

私と相性のいい色は、青色。

ジーパンの色、インディゴブルーが一番いい。

人によって相性のいい色があるはず。

その服の色を出す染料は、鉱物の顔料か植物の染料のようである。でも最近は、合成染料が主流。

風水でいう、色による開運法。

また、色彩工学による、心の変化と行動様式。

どちらも、目で判断するだけではないようである。

特に下着は目で見えない位置にある。

それでも、勝負下着なる言葉がある。

身につけるものは、染料と生地素材が体調に影響していると思えてしかたない。

白い肌着も、脱色しているものがあることは知っている。

洗っても溶剤は落ちないかもしれない。

その影響があるかもしれない。

そうなれば、肌アレルギーも溶剤と染料の責任になってしまふのではないだろうか？
特に、スーパードで売っている白い半袖の肌着、よく背中がかゆくなる。
溶剤をうたぐってしまったが、どうだろう？

また、その上にきている化学繊維の静電気の影響もあると思うし、繊維の感触の影響も受けるはず。

気の話になるが、溶剤も染料も物質である。

物質からは、気の影響を必ず受ける。

染料も少量ながら、気の影響下にあると思う。

パワーストーンのように。

ブラインドタッチ

パソコンを打つより、ボールペンで書類を書いている方が、やる気は出る。

結局、パソコンでのブラインドタッチは覚えなかった。

キーボードを使うより、下案は紙に書いた方がまとまっている。

昔と比べて、正面にあったモニターは、ノートパソコンに置き換わり、文章も入力しやすくなったと思う。

この文章も、Wordで入力している。

基本的に使う指は、両手の人差し指だ。

その方が入力しやすい。

他の指は握ってはいない。

広げてもない。

何かをつかむような形である。

ちなみに、ライターを持って入力してみると、案外入力しやすい。ほとんどん文章が出てくる。

右手にライターを持って入力してみると、硬そうな文章になる。

決まり切った文章を書くのは、ブラインドタッチが速い。

ひとつずつ意味を持たせた文章は、両手の人差し指で打った方がいい。さらに、人差し指を見ながら打つと思いだうりに打てる。

大きなモニターから目を離さず打とうとしてみたら、文章が出てこない。バカになったようだ。

その時の入力方法は、口から言葉を出しながら打つと打てるかもしれない。

おそらく、その方法がブラインドタッチの極意だと思う。

あとは、しゃべらないように口を開けないで、打つだけ。そして、体は前かがみで打つべし。

紙に書く時も、なぜ人は前かがみになるのだろう。

確認しながら、書く。

確認しながら、打つ。

要は、前かがみになった時だけ、思考力があるということだろう。

後ろに反った状態で、考える人はいないと思うが・・・
ちなみに、やってみるといい。

その体勢は、休む体勢なのである。

疲れた、疲れたと言っている人は、夜空を見上げることが忘れた人なのである。間違っていないはず。

金環日蝕で、多少疲れが取れた人も多いのではないかな？

だから、ブラインドタッチは、多少疲れにくい打ち方だと思う。

でも、キーボードを見て考えながら打ち込む。

そして、打ち込んだら顔をあげて、文章の内容と画面を見て休む。

この打ち方が、一般人のベストなのかもしれません。

気のせい

今までいろいろ書いてきたが、そんなの「気のせい」でしょう。

と、言うかもしれない。

確かに、「気のせい」である。

気の「責任」であり、気が「悪さ」をしているのだ。

じつは、「気」を知った為に、独自解釈に至った経緯がある。

ちまたの本で、気を使った漢字が非常に多いと書いてある本が、ときおり見受けられる。

わたしが、この気の言葉を発見したのは、じつに20年前である。

ただ、その当時見ていない本には、もうすでに書かれていたかもしれない。

この気を使った漢字や言葉を、国語辞書に関係なく解釈すると、気の言葉は体を使って表現したことばに、置き換え

られることがわかった。

「気が重い」。

なんかやる気が出ないような言葉だが、こうするとどうだろう。頭の上に、気の重い重力がのしかかってくる。

空気が重くて、頭が下がってしまい、やる気が出ない。

こうなると、「気が重い」と表現してもいいのではないか。

「やる気」

何かやるうとする気持ち。

自分の気を、前向きに押し出そうとすること。

そういうのを「やる気」と呼んでいるのかな。

「気のもちよう」

今、ある気と別の気を二つ手に持っている。

Aにしようか、Bにしようか、迷っている。

でも、踏ん切りがついて、じゃあAにするわという。

ある人は、やっぱりBしかないよなどと、しぶしぶ判断する。

これが、気のもちようである。

本当に、気を使ったことばはすごく多い。

一度辞書を片手に、自分で解釈してみるのもよいかもしれない。

この世の謎を、またひとつ解明できる頭脳になれるかもしれない。

思いつきと検証

日々の生活の中で、巷には色々とヒントがある。

そのヒントを体を使って確認してみる。

自分の体の動きと、心の中のデータベースが一致すれば、それは真実と解釈している。

少しでも納得しない解釈なら、何日もかけて体と見聞で検証する。

そうすると突然真実が見えてくる。

それを人に話しても、うまく説明できないので、また、信じてもらえないので、個人でメモしておく。

第一印象は、大事にする。

そこにすべてのヒントが詰まっている。

それでも間違いはある。

それは、心の中の欲が少しでも含まれているときだ。

本で覚えた事柄は、全くの無視をする。

全然参考にしない。

過去に見た、起きた経験だけを参考にする。

そうして、新たな解釈を増やしていく。

そして、また心のデータベースが増えていく。

歩きながら考えていることをメモしておくか、コーヒーをのみながら一気に書いていくか。

どちらも、息を止めながら書いていけるようなもの。

しかし、仕事は一切出てこない。

できすぎた話のようであるが、すべて真実である。

書く場所によって、文章が異なるのは、周りに人がいるかないかである。

これができるようになったのは、iPhoneとiPadのおかげであった。

性格を変える

性格を変えたいと思っているなら、心の中で「ありがとう」と言おう。

感謝する心、これがあれば性格は変わる。

人は同じ性質の性格を持っている。
なら、何が違うか？

感謝する心のレベルが、10%なのか、また80%なのかで違ってくる。

普通の人の感謝する心は、20%ぐらいだと思っている。

これが、70%を越えればあなたは成功者、または勝者となっているだろう。

「ありがとう」の言葉を、いまだに人にいう言葉だと思っていると違います。

「ありがとう」は、自分に対していう言葉なのです。

この極意がわかれば、あなたは人生の勝者になっています。

私はまだ、50%です。

がんばりましょう！

人と接する

この世に、単独でできることは少ない。
必ず、人との共同作業が必要になる。

これを単独で解決しようとしている人は、行き詰まり感を感じるだろう。
嫌悪感を感じている人もいるだろう。

また、引きこもりになるかもしれない。
たとえ相手が悪い印象の人であろうが、共同作業や援助されることは必要なのだ。
接すれば、案外悪い人ではないと、思うことだろう。

確かに相手にも欠点はある。

同時に自分にも欠点があるので、相手から悪い印象を受けてるかもしれない。
それでも、ふだんは和気あいあいとやっている。

幸福は一人では得られません。

必ず、対する相手が必要なのです。

それを相対する人と呼びます。

相対する人がいなければ、幸福と感じません。

恋人のように。

幸福は、必ず相対する人が運んできます。

テレビから、幸福はやってきません。

それを人に話すことで、幸福はやってきます。

世界で一人だけになった場合、一週間は楽しいでしょう。だけど、その状態が一年もつでしようか？
必ず、誰かが、相対する人が欲しくなります。

おいしい情報を、一人でほくそ笑んでいる人はまれです。
そういう人は、いずれ不幸な状況におちいります。

パソコン初心者に教える

パソコン初心者への最初のアドバイスは、日記をつけることを覚えさせましょう。

日記ソフトは、文字の入力主体だが、自分の思いを書くため必須事項を覚えなければならない。

パソコンの起動と終了。

日記ソフトの立ち上げ方。

マウスの移動方法とクリック。

新規作成と保存。

英数入力と漢字入力。

以上のように一通り覚えなければいけない。

また、毎日繰り返し入力して操作方法を覚えていく。

初心者の人も、何か書きたいために、パソコンを買うはずだ。
ですから一石二鳥なのである。

最初は、ソフトの落とし方やインストールの仕方はわからないので、代理でしてあげなければいけない。一通りの操作方法も教えなければいけないだろう。

でも、大事なものは、操作方法を紙に書いてあげることである。

それを見直しながら入力と操作をしていく。

そこまでしてあげなければいけない。

また、パソコンにも保存してあげていけば、また新しい使い方を覚えていくだろう。

最初に、ゲームとかエクセルあたりからはいると、他のことを覚えなくなる可能性があるから、最初は文書入力が基本です。

神の形と神の数字

四角錐は、神秘の形

四角錐イコールピラミッド型

上下二つ合わせれば、立体八角体

それを拡大解釈すれば、イコール球形となる。

球形イコール世界の始まり。

世界の始まりイコール神の形となる。

神の形イコール原子の形

原子の形が集まれば、物体。

物体が集まれば、地球の形。

星が集まれば、宇宙。

だから、宇宙の形は球形。

宇宙は球形で、その神は球形の形である。

原子の一つ一つに神があり、細胞の一つにも神がいる。

物体の一つにも神があり、地球にも神がいる。

そして、宇宙にも神がいる。

となると、神は人ではない。

原子の一つに、人の形をした神は存在しない。

神は、どこにでも存在する。

神は無数。

それが、神！

神は、ものの形を作る原型。

ようするに、神は絶対的な法則の元。

そして神の形は、球形である。

四角錐は、八辺ある。

八角体は、十二辺ある。

よって、神の数字の最低数は、十二であるから、神の数字は十二となる。

エジプトでは、神カーへ戻るために、ピラミッドを作った。

ピラミッドは、四角錐。

ピラミッドには、神秘のパワーがあり。

ピラミッド型の中に、食べ物を置くと腐るまでの日数が、延長される。

まるで、エジプト人がミイラを作ったように、四角錐の中に収められた。

でも、究極の形は八角体。

この中にものを収めれば、神秘のパワーの恩恵を受ける。

試して見る価値はあるだろう。

通常の箱は、六面体の立方体。

これはこれで、通常の納める箱である。

埃が入りにくい、雑菌を保護する程度のもの。

八角体より十二面体。

それ以上に、ダイヤモンドの58面体ブリリアンカット。

美しさをききそうには、より球形に近い多面体がベストなのだろう。

結果で言えるのは、神の数字は人間の役には立たない数字と言えよう。

ラッキー数字の7と同じである。

現実と重ね合わせても、全く関連性のないのが、数字の根拠である。

でも人間は、この数字にこだわって生きてきた。全くの根拠がないのだ。

一年が365日なのも、一年を十二月に分けたのも、地球が太陽を回っている周期の一つにすぎない。他の恒星では、この周期が違っているのに、なぜ数字にこだわるのだろう。その数字の中に、神が臨在していると勘違いしている。

本当に、占いと同じだ。

占いは、信用できる部分と信用できない部分がある。すべてを占いで頼るのは、危険極まりないのである。

数字には根拠がないことを、あらためて念を押し言っておこう。

だから、誕生日が元になる占いは、当たる人と当たらない人がいる。

すべての誕生日の占い結果を見て、必要なところだけ信用すれば、結果オーライとなるのです。

最適なBGM

物書き、調べものなど、集中して行動したいときは、クラシック音楽がよさそうだとくに

知らない音楽の方がベストで、曲を知っているとつい乗ってしまうこともある。

ときには、ストレスが欲しいようなときもある。

そういうときは、知っている楽曲を流せばよいだろう。

ジャンルは問わない。

お気に入りのアーティスト、お気に入りの曲を流せば、モチベーションが上がってくる。

一般に、ボーカルのない演奏のみのBGMが、最適だと思います。

日々のお金管理

支払いは、一箇所で一括払いにする。

預金は、あちらこちらに預金しておく。

支払いを、1カードにしておけば毎月の支払い額が把握できる。

家計簿管理も楽になる。

一方、預けておくお金は一箇所で管理すると、目減りが激しく貯まった感じがしない。

分けておくことによって、ど忘れ効果を見込んだ無駄遣い防止を狙う。

また、余分なお金はその口座に振り込んでおけば、いざという時に引き出せる。これも、ど忘れ効果を見込んだ恩恵である。

口座以外に自分用のへそくりとして、会社に数千円。

自宅に一万円置いておけば、これもいざという時に思い出して使える。

ふだんは忘れていて結構。

本当に困った時、お金の工面に頭を巡らすだろう。

そういう時は絶対思い出すもので、そういう自分にご褒美をあげたいくらい感謝するはず。

ただ使ったら、補充することも忘れないでおこう。

アップルのマップ路線

「PC Onlineのメールより抜粋」

.....
て興味深いのは、「地図」である。

今秋に予定されているiPhone/iPod touch/iPad向けの新OS「iOS 6」の導入とともに、これまでGoogleから提供を受けていたGoogleマップの利用をやめて、代わって独自の地図サービスを始めるという件だ。

「アップルが乗り出すとは、地図はやっぱりこれからの金になる大木なのだ」と納得するものだし、「アップルはここまでしてGoogleに対抗する姿勢だな」ということも分かる

.....

マップはあくまでも、Googleにこだわるべきだ。

独自の地図サービスを始めるのは、普通の企業の考え方だ。

アップルは、そうではないはずだった。

ジョブスが死亡し、足かせがなくなったとみる。

世界最高の企業に仕上げたのは、ジョブスだが、このままいくと企業ポリシーが過去のアップルの失敗に戻ってしまう。

あの時は、ジョブスが経営参加し、今のようになったのに、その流れが見えてしょうがない。ただの企業に成り下がる。

そう思ってしまうのだ。

個人的な意見なので反論されても仕方ないが、私の予測はよく当たるのだ。

独自サービスで不具合が発生すると、追求されるのはその企業だ。

とくに、iPhoneで覇権をとっているので、一度不具合が起こるとすごいことになる！

独自サービスは、やめた方がいい。

私の結論だ。

世界最高の企業でいて欲しいのは、私だけではないはず。

考え直して欲しい。

グーグルと協力関係ならいい。

グーグルを敵にまわすと、どんどんサービスを打ち切られるようになるだろう。

お金に余裕がある時の節約術

買わないのは大前提としてあって、いかに使わないで貯める方向にいくか。

1. タウンショッピング編

街を徘徊しない。

休む場所は、一箇所に決めておく。

クレジットカードは携帯しない。

ポイントカードも遠慮する。

買い物の日と買わない日を決める。

水は自宅のものを容器に入れて出かける。

財布には、ショッピング用のカード1枚と小銭のみにする。

・・・財布にカードは2枚まで。

ポイントカードは、カードウォレットに入れる。

カードウォレットは、必要時以外携帯しない。

・・・ポイントが使えなくても、損はしないものである。

・・・次回に買えばよい。

ショッピングカードとポイントカードが合体したカードに変える。

ショッピングカードとは、ピザ等のクレジットカードではなく特定の店専用。

・・・別のお店では買えないので、出費を抑えられる。

・・・悔しいだろうが、我慢する。

・・・店を出てしまえば、欲しくなくなる。

- ・・・衝動買いが抑えられる。

- スイカなど、駅で必要な時使えるカードは必要。
- ・・・チャージしておく、小物が買える。

電車やバスなど、移動手段で使用するカードは、常時携帯する。

バッグにへそくりを忍ばせる。

- ・・・本当に困った時、助かります。

絶対忘れないグッズに、お金を挟んでおく。

- ・・・財布を忘れた時に、助かります。
- ・・・いざという時に、効果を発揮します。

2. インターネットショッピング編

最初に決めたもの以外は買わない。

見ていると謳い文句に見出され、ワンランク上のものを選んでしまう。

目移りするので、買い物後はブラウザを閉じる。

- ・・・あれもこれも欲しくなってしまう。

買い物は、予定金額の+20%までに抑える。

クレジットカード情報は、ウェブサイトで登録しない。

・・・つい、楽をしてしまい、買い物件数が増える。

ついでに買う行為をしない。

ターゲットが見つかったら、買う前に他のサイトで調べてみる。

・・・不良情報やクレーム情報があるかもしれない。

できれば、一晩寝てから買ってみる。

・・・本当は必要ないかもしれない。

・・・違うものを選ぶかもしれない。

・・・買ってから、後悔する。

・・・知人からもらえるかもしれない。

ノートPCの活用

ノートパソコンであれこれやろうと思っではいけない。

単一目的さえあれば、使いこなせるものである。

その他の機能は、おまけ機能なのだ。

必要な時使えば良い。

そういうものだと思う。

メールはメイン機能には入らない。

メールの代用は何でもできる。

絵を書くこと、音楽を作ること、ブログを更新すること。

そういうものにパソコンを使いたいものである。

例えば、音楽を50GB保存したとしよう。

その音楽を全部聞き終わるまでに、パソコンを買い換えるか、パソコンが故障するはずならば、SDカードにいれて置いて、必要時に入れ替えれば容量を圧迫することもない。

音楽を聞きたければ、携帯プレイヤーやオーディオ機器がある。

わざわざパソコンで聴く必要がない。

しかし、何かしながら音楽を聞くはずだ。

その何かしながらが重要！

そちらの方が自分にとって重要なことなのである。

今は、音楽を流さなくてもパソコンでラジオが聞ける。

そちらの方が面白い話を聞けるだろうし、ジャンルは様々。

DVDもテレビの方が綺麗だし、大画面だ。

ただ、こそっと見るなら、パソコンがよいだろう。

パソコンは何かするための道具であるべきだし、性能を追求する必要はない。

今までの経験から、そう言えるのは間違いではない。

若い頃は、性能ばかりに目がいった。

それを追求したことも、良い経験だったが、アウトプットは全くなかったと言ってよい。

メリットは、マニュアルを読まなくてもソフトが使えるくらいだろう。

お金の使い道

1. 投資する
2. 誰に
3. 自分以外に
4. 目的がある
5. すると、還元がある

どうしても必要なものがある場合、たとえば、

地デジテレビ

地デジレコーダー

外食資金

自分のために↓↓還元なし

目的なくギャンブル↓↓当たらない

目的があるギャンブル↓↓当たる可能性大

なぜ↓↓当てようと努力するから

どうして↓↓最適な方法を考えるから

そうなる↓↓霊が関与するから・運が回ってくるから

当たったら買う↓↓当たらない

買ってから挑戦する↓↓還元がある

還元をねらう↓↓還元なし

還元をあきらめる↓↓還元あり（非常に重要）

これが、幸運！

宝くじの失敗

当たり運のない自分が、宝くじにのめり込んだきつかけ。どうしたら一等が当たるんだという知人の言葉。

調べまくった。

絶対見つけてやるぞと息巻いていた。

西銀座デパートチャンスセンターへも行った。

新橋駅烏森口宝くじラッキーセンターへも行った。

最初は1万円以上が当たっていた。

ナンバーズ3も、ナンバーズ4も1万円以上取った。

ロト6も1ヶ月に一回以上は1000円が当たっていた。

ふと取れなくなる時期が来た。

それは、傲慢になってしまったこと。

自信が出来ると当たらなくなる。

この時期、ナンバーズ3の解析をしなくなっていた。

安直な方法に頼るようになった。
楽をするようになった。

宝くじの保管場所も解析をしなくなった。
当たっていた場所に運があると信じていた。
楽をするようになった。

解析は一定では当たらない。

常に改良改良の繰り返し。

これを怠ってしまった。

要するに最初の目的、どうしたら当たるんだを見つけてしまったから。

目的は、成就された。

今は当たらない。

また地道に始めてみる。

そういう状態。

PSナンバーズ4当たった

日曜日買ったナンバーズ4のセットボックスが当たった。

久しぶりです。

5393に対し、5933。

金額は、47,800円。

善霊の援助なのか、悪霊の仕業なのかわかりませんが、5年ぶりでしょうか、5万円近く取ったのは。
方法は、MacBook Airに入れたソフトから選び出し、自分なりに改良しました。

Zorro用のソフトは初めてなので、これはビギナーズラックになります。

このパターンは当たります。

さらに、数字の改良で、当選確率はグンと上がります。

夏の夜にはござ

実家での習慣だったのだが、夏の夜の暑苦しい日には、敷き布団の上に1畳のござを敷きよく寝たものだった。

ふとんの上に寝ると、ふとんの感触が逆に暑苦しく感じる。

ござをひくと、畳の上に寝るように冷たく感じて、汗によるべたつきもない。

最初使うときは、少し堅めが気になるのだが、気持ちがいい。

特に寝汗で起きることもないし、短パンで寝ても汗によるべたつきがない。

夏の夜の暑苦しい日は、特にお薦めである。

紙幣と硬貨のお話

紙幣は上質の紙です。

お札も紙です。

お札は、書いている内容によって開運や幸運のおふだになります。

また呪いや呪詛に使われる札も紙です。

よって、紙にはいろんな呪文が常についてきます。

紙幣には、幸運と不運が常についてまわるのです。

あなたのくたびれた一万円札は、どこでどう使われたかわかりません。

人から奪った紙幣なら、その人の恨みがついてしまいます。

また、どこから盗まれた紙幣かもしれませぬ。

大事に持っていた紙幣なら、その人の幸運が染み付いています。

その紙幣を持っていれば、運が回ってくるかもしれませぬ。

昔の人は、ご祝儀に必ず新札を使いました。

もらった新札を後生大事に持っていたり、銀行からわざわざ新札をもらっていました。

何かあると、紙幣を浄化したり、拜んで悪いものをとってもらった人もいたはずで。

ですから、紙幣の扱いは慎重に行わないといけません。

財布の奥側には、新しい紙幣をいれておき、使わないようにしておくべきで。

財布の手前には、折れ曲がった紙幣をいれて、常に使うようにしておけば、厄をどんどん使って出しておきます。そうして、不運の紙幣を使いまくるのです。

きっと、お金の使い方が上手になると思います。

硬貨の場合はどうでしょう。

硬貨は金属です。

金属には不運は回ってきません。

小銭を貯金している人が不運でしょうか？
貯蓄は増えますから、不運にはならないと思います。

となると、硬貨は呪いのお金にはならないということですか？

では、幸運かというところ、そうでもないようです。

金属がたくさんある鉄工所が、大金持ちでしょうか？

そうでもありませんね。

ですから、金属で幸運になるということはないのです。

では、幸運になる根本はなんだと思いますか？

それは、模様です。

模様が幸運を運んできます。

お札に戻りましょう。

お札は文字か模様です。

特に漢字は、物の模様から変化して現在の漢字になりました。

ありがたい言葉は、漢字です。

ひらがなやカナではありません。

仏教の梵字も、漢字のような模様ですね。

その模様には、意味があるのです。

よく観察していると、だんだんわかるようになります。

例えば、受験で大学を目指している机の前に書く文字はなんでしょうか。

「合格」と書きませんか？

「ごうかく」と書いてみましょう。

全然重みが違います。

また、「東大合格」と「東大へ合格」では、心構えが違います。

ひらがなを使うと重みがなくなってしまいます。

決心したなら、漢字のみか四文字熟語で書くことをオススメします。

資産の話

通常、お金とは資産のことを指す。

資産を貯めるか、いかに使うかは本人次第。

本来、人は時間を有効に使うより、資産を有効に使う方に重点をおかなくてはいけない。

だが近年、人は時間の有効活用しか頭になく、資産をおろそかにしてきた。
そのツケが、借金である。

時間を優先したことによって、お金を思う存分使ってきた。

資産は減るばかりで、蓄えがなくなってきた。

食料も資産と考えれば、納得いくだろう。

時間優先！

これは、危険なささやきであることに気づかなければいけない。

時間を優先することによって、資産を徐々に食いつぶしていく仕組みなのである。どうしてもお金で解決してしまう。そういう癖を人は自然に作ってきてしまった。

また、ものを大事にする。

これも資産有効活用である。

最先端を追い求めれば、どんどん新しいものを買っていき。

古いものは、どんどん捨てていく。

資産はどんどん減るばかりである。

お金も、モノも。

断捨離も片付けもクリン化も、ものを買った結果であるから、近年必要になってくる。もともと、ものを買わなければ生きてよいものだ。

断捨離を実践しても、また買い足してしまうようなら意味がない。ならば、最初から捨てなければよいものを。

自宅にあるものは、全て資産！

たとえ、お金に還元しても二束三文にしかならない。

あなたの考えた事柄も資産のうち。

毎日新しいニュースを見ては、古いニュースを捨て去っている。

あなたの生き方も資産なのだから、それは残すべき。

新しいニュースに書き換えられないように！

無駄な資産を受け取らないように！

資産を減らすか、増やすかは、あなた次第。

防寒の話

防寒なら大人の牛の牛革、通気性なら仔牛革。

仔牛は体温が高いので、革の表面にたくさん通気穴がある。

大人の牛は、体温が低く温度を逃がしたくないので通気穴が少ない、または小さい。

電気ストーブは遠赤外線だから、体を芯から温めてくれる。

エアコンはそうでもない。

また、電気ストーブは腹側を温めると体が温かくなる。

背中側だと表面だけのようない気がする。

さらに、遠赤外線の反対の作用なら、暑さ対策が出来るが、まだこの世にそういう器具は存在しない。

漢字とかなの話

場所を指し示す時、漢字ではなくて「ひらがな」を使う。

漢字だと教えにくいものに対し、ひらがなだとすぐ指示できる。

例えば、「此处」と「ここ」、

「左」と「ひだり」のように。

漢字はココロで確認、平がなは目で確認。

平がなは、見ただけで理解できる。

漢字とカタカナは、ココロで文字を読まないで理解できない。

夜見る夢の実態

夜見る夢は完結せねばならない。

途中で起きるようだと、人生の節目節目をやり遂げていないことのようにある。

時折何度も同じストーリーを見ることがある。

それは、実際の生活や頭の中の整理ができていないために起こること。

それを完了させると、自然に夢のストーリーも完了する。

そういう仕組みになっている。

例えば、部屋が寒いと途中で起きてしまうように、夢の途中で終わってしまう。

そうすると、生活も人生も中途半端。

だから、部屋はある程度暖かくしておかなければならない。

そうすれば、夢の完了まで見ていられる。

夢のストーリーに意味は無いが、夢は完了させることが良いのだ。
なぜなら、スッキリするから！

夢を完了するには、5時間以上の睡眠が必要。

レム睡眠になったまま起きること。

ノンレム睡眠だと、夢を見ずに途中で起きることになる。

ただ、短時間睡眠だと、朝起きたときに人生のヒントをいっぱい思いつく。

だから、世の中の成功者は、短時間睡眠型が多いのだ。

短時間睡眠で成功者になるか、人生をゆっくりやり遂げるタイプになるかは、あなたしだいである。

なんでん屋